

■ 平成24年度文部科学省「栄養教諭を中心とした食育推進事業」

愛知県学校食育推進の手引〈実践編〉



愛知県教育委員会



はじめに

本県では平成18年に「あいち食育いきいきプラン」(愛知県食育推進計画)を作成し、食育を総合的かつ計画的に推進してきました。

その結果、小学生の肥満者の割合の低下、学校給食における地場産物の使用割合の増加など、学校における食育も着実に進展しています。

また、平成21年に学校給食法が改正され、食育推進が明記されるとともに、「生きた教材」として学校給食を活用した食に関する実践的な指導を行うよう示され、さらに、小学校では平成23年度から、中学校では平成24年度から施行されている新学習指導要領においても、総則に「学校における食育の推進」が盛り込まれたほか、関連する教科等でも食育に関する指導の内容が充実されました。

こうした中、本県では、積極的に食育の実践に取り組む学校が年々増えてはいるものの、未だどのように取り組んだらよいかなど、戸惑いを感じていたり、様々な事情から消極的になっていたりする学校や地域もあり、今後、いかに県内全域で食育を推進していくかが大きな課題となっています。

そこで、小中学校9年間を見通した食育推進に関する基本的な考え方や具体的な実践例を示すとともに、諸課題を克服するための留意事項や方策などを明らかにし、各学校における食育の一層の充実に活用していただくため、昨年度、文部科学省の委託事業「栄養教諭を中心とした食育推進事業」を受けて、「愛知県学校食育推進の手引」を編集・発行しました。

これに続いて本年度は、学校における食育の実践を一層広げるため、地域との連携や学校給食を生かした取組、個別指導に視点をあてた実践、さらには特別な支援をする児童生徒への指導実践例など幅広い視点から、食育の取組をまとめた「愛知県学校食育推進の手引＜実践編＞」を発行することとしました。

各学校においては、これらの手引きを十分に活用し、栄養教諭を中心として、積極的に食育の推進に取り組んでいただくことを期待しています。

最後になりましたが、学校食育資料作成委員会の各委員の皆様には、本手引作成のために誠心誠意お取組をいただきましたことにお礼を申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。

平成25年2月

愛知県教育委員会健康学習課長

長谷川 勢子

目 次

はじめに

1 食をめぐる現状

(1) 児童生徒をめぐる健康に関する状況	1
(2) 教育行政が進める学校食育の状況	3
(3) 学校食育の推進における学校給食の在り方	5

2 学校食育推進の支援体制を活用した食に関する指導の進め方

(1) 支援体制づくりの進め方	7
(2) 校内食育推進組織を構築した取組事例	10
(3) 市町村教育委員会における取組事例	18

3 学校・家庭・地域が連携した食に関する指導の進め方

(1) 連携の基本的な考え方	26
(2) 家庭と連携した取組事例	28
(3) 地域と連携した取組事例	36

4 学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導の進め方

(1) 学校給食の役割	44
(2) 給食の時間における取組事例	46
(3) 学校給食を生きた教材として活用した取組事例	55

5 個別的支援の食に関する指導の進め方

(1) 個別的支援の基本的な考え方	63
(2) 肥満傾向・痩身傾向のある児童生徒への対応の取組事例	65
(3) スポーツをする児童生徒への対応の取組事例	72
(4) 学校給食における食物アレルギーのある児童生徒への対応の取組事例	
	78

6 特別な支援を要する幼児児童生徒への食に関する指導の進め方

(1) 基本的な考え方	8 4
(2) 自立に向けた支援の取組事例	9 0
(3) 家庭と連携した取組事例	1 0 2

あとがき

資料作成委員